

東京都市計画道路事業幹線街路放射第2号線(品川区西五反田七丁目～同区荏原二丁目) 事業概要及び現況測量説明会 要旨

開催日時 平成25年4月24日(149名) 7月29日(185名)
開催場所 品川区立第一日野小学校、TOCビル特別ホール
事業概要 東京都市計画道路幹線街路放射第2号線(都市計画決定 昭和21年3月26日)
 起点: 港区白金台三丁目 終点: 大田区田園調布二丁目
 計画延長: 7, 890m 計画幅員: 25~33m

【今回事業化予定区間】
 起点: 品川区西五反田七丁目 終点: 品川区荏原二丁目
 計画延長: 約1, 200m 計画幅員: 25~33m

整備効果

- 延焼遮断帯が形成され、**大規模な市街地火災を防ぐ**ことができる。
- 震災時の**安全な避難路が確保**される。
- 緊急車両等の通行が確保され、**救助、救援活動が円滑に行われる**。
- 一方通行や狭隘道路が解消されることで**周辺地域の利便性が向上**する。
- 歩道、植栽、電線共同溝の整備により、**快適な歩行空間を創出**する。

事業の進め方 パンフレット「東京のみちづくり」「特定整備路線の概要」参照

現況測量について 地形などの道路設計の基礎資料を得るために実施

主な質問事項 Q1. 防災に資する事業については賛成であるが、都市計画道路は昭和21年に計画されたものでありその後見直しも行われているものの、都市計画線の位置は、現計画が最適なものであるのか？

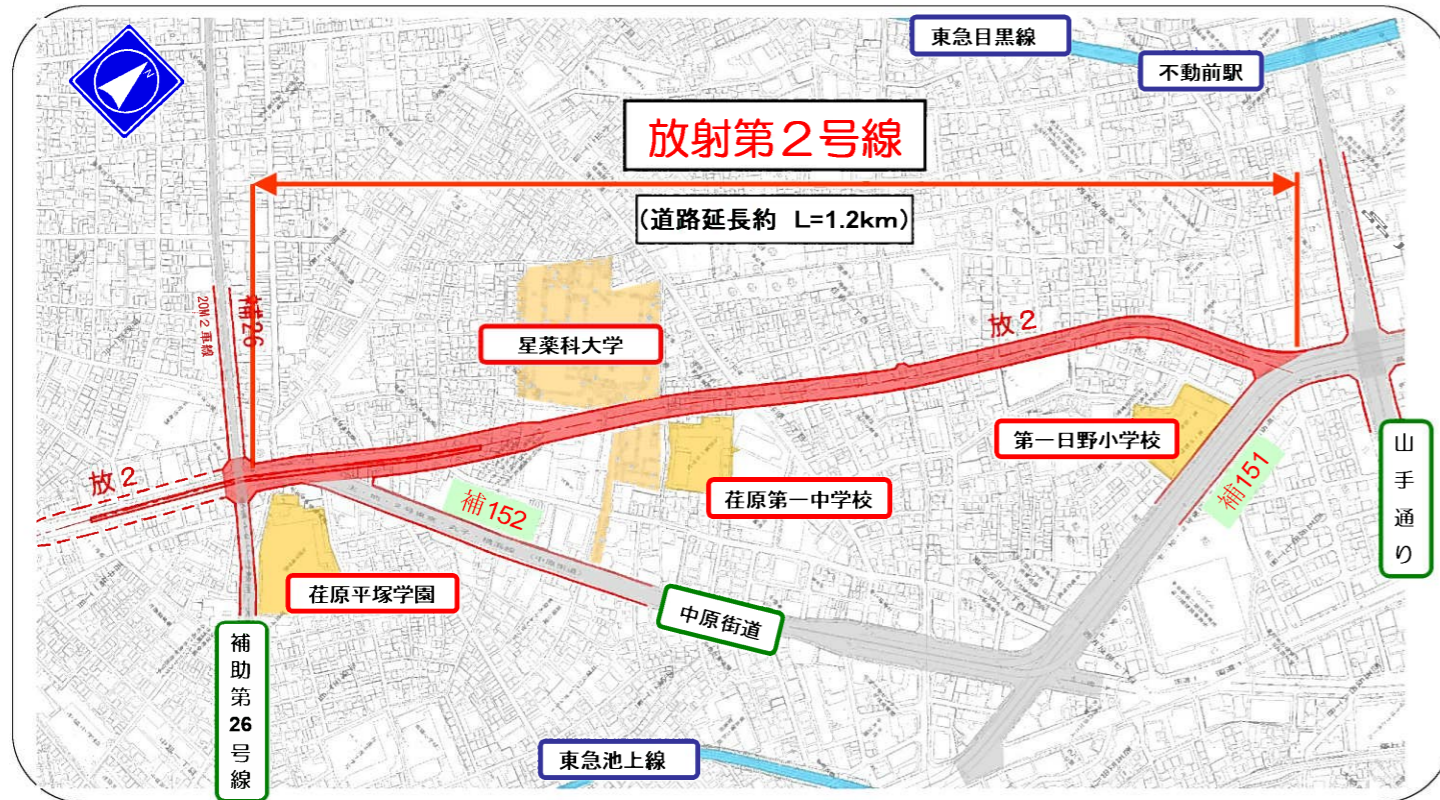
A1. ○東京都では、都市計画道路の第三次事業化計画に基づき整備を進めています。
 ○都市計画道路の計画見直しはS33年、S41年に実施し、その後の第一次から第三次事業化計画でも検証されています。
 ○第三次事業化計画では評価指標8項目のうち「走行性の向上」、「主要延焼遮断帯の形成」、「重点整備地域(防災性の向上)」の項目で、当該計画での整備が必要と判断しています。
 ○さらに今回、道路の延焼遮断帯機能についてシミュレーションを行い評価して、特定整備路線としました。

Q2. 星薬科大は敷地が広大で並木もあり、現況で延焼遮断帯の役目を果たしていると思う。大学敷地を分断しないようなルートが考えられるのではないかと？

A2. ○薬科大の緑多い広大な敷地は防災上の活用が重要であります。
 ○大学周辺の道路が不十分な当該地において、放2は災害時の避難、救護、消火活動のために必要なものと考えています。
 ○防災対策は道路のみで全て解決することは出来ません。このため、品川区との相互連携を図り、地域の不燃化など防災性向上を図るのが本事業であります。

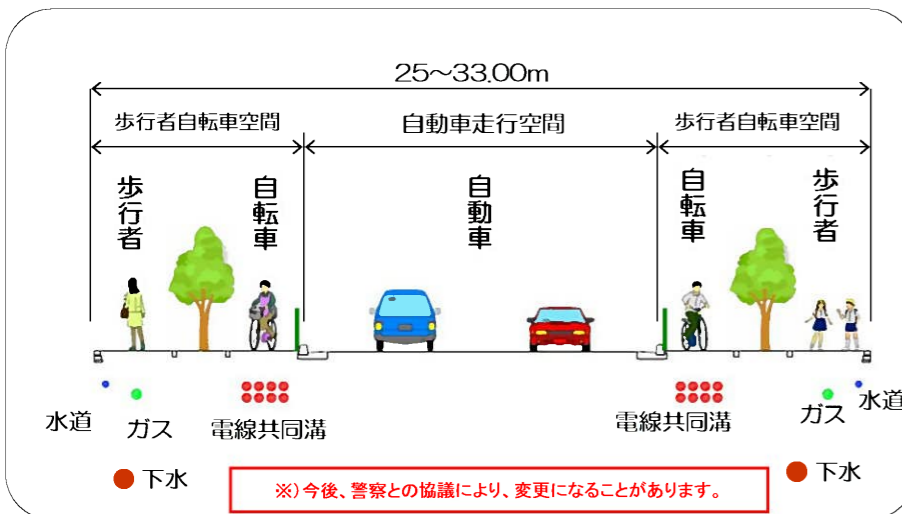
Q3. 事業の必要性をきちんと説明して欲しい。

A3. ○都内には約1万6千haの木造密集地域があります。S21年の都市計画決定の後、S30、40年代には財政などの理由から計画を縮小し、その結果木密地域が残りました。
 ○放2は度重なる都市計画の見直しなど必要性の検証を経て、第三次事業化計画に位置づけられています。
 ○品川区内は火災危険度の高い地域が多くあります。放射第2号線は(延焼遮断機能を持つ都市計画道路の幅25mが確保されていないため)、シミュレーションを実施して、延焼が広がることがわかりました。このため、特定整備路線として整備することを決定しました。
 ○放2は都市計画道路であり、交通や生活のための道路でもあります。さらに防災上の観点からも必要であり整備するものです。



整備イメージ

安全で快適な歩行空間の創出



特定整備路線事業概要

(幹線街路放射第2号線)

及び

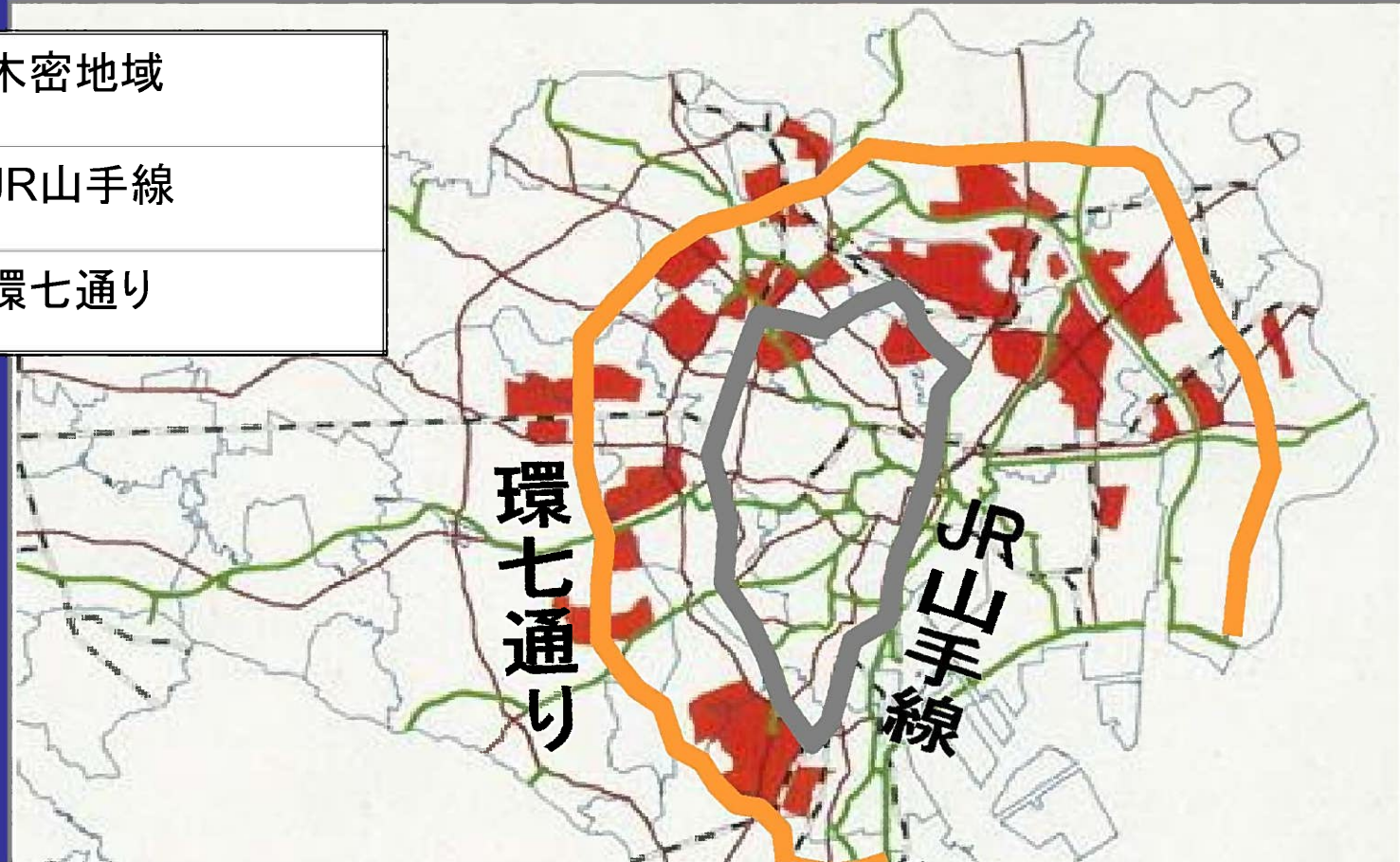
現況測量説明会



東京都第二建設事務所

木密地域の状況

	木密地域
	JR山手線
	環七通り

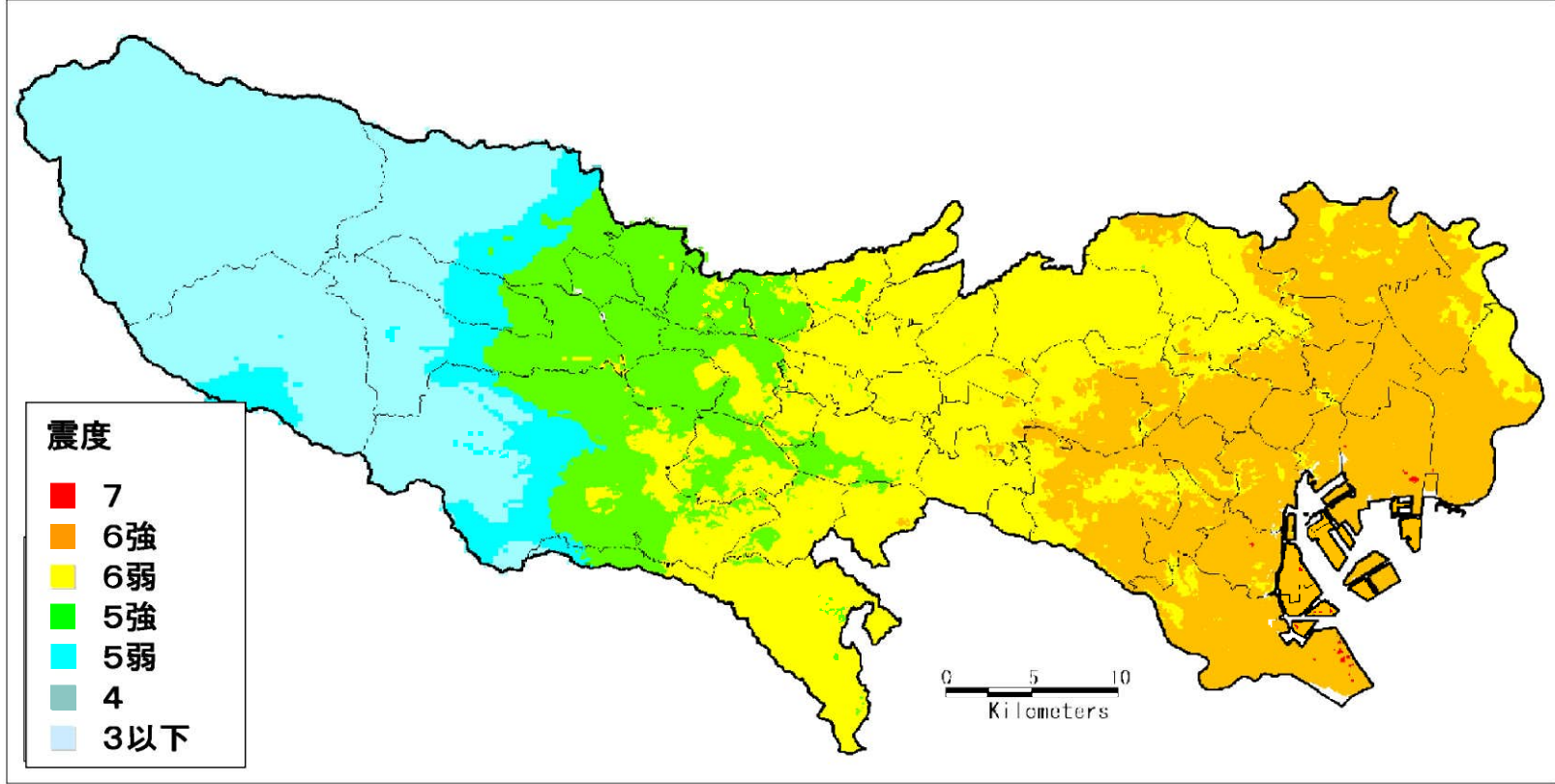


震災時に特に甚大な被害が想定される
木密地域（整備地域：約7,000ha）

首都直下地震時による東京の被害想定

【首都直下地震】

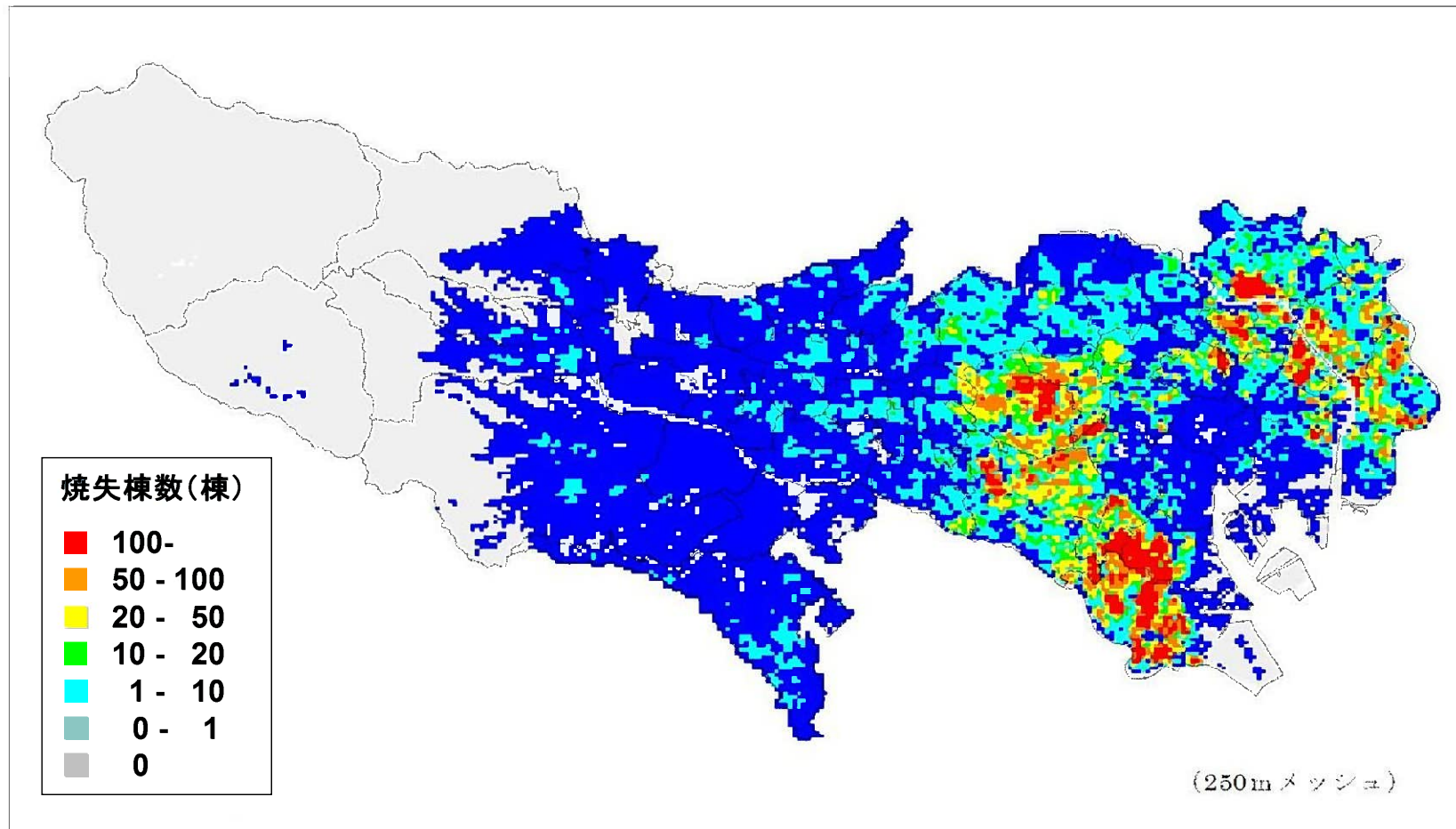
○東京湾北部地震(M7.3)



出典：「首都直下地震等による東京の被害想定」東京都防災会議

首都直下地震時による東京の被害想定

東京湾北部地震における焼失棟数分布（冬 18時 風速 8m/s）（火災）



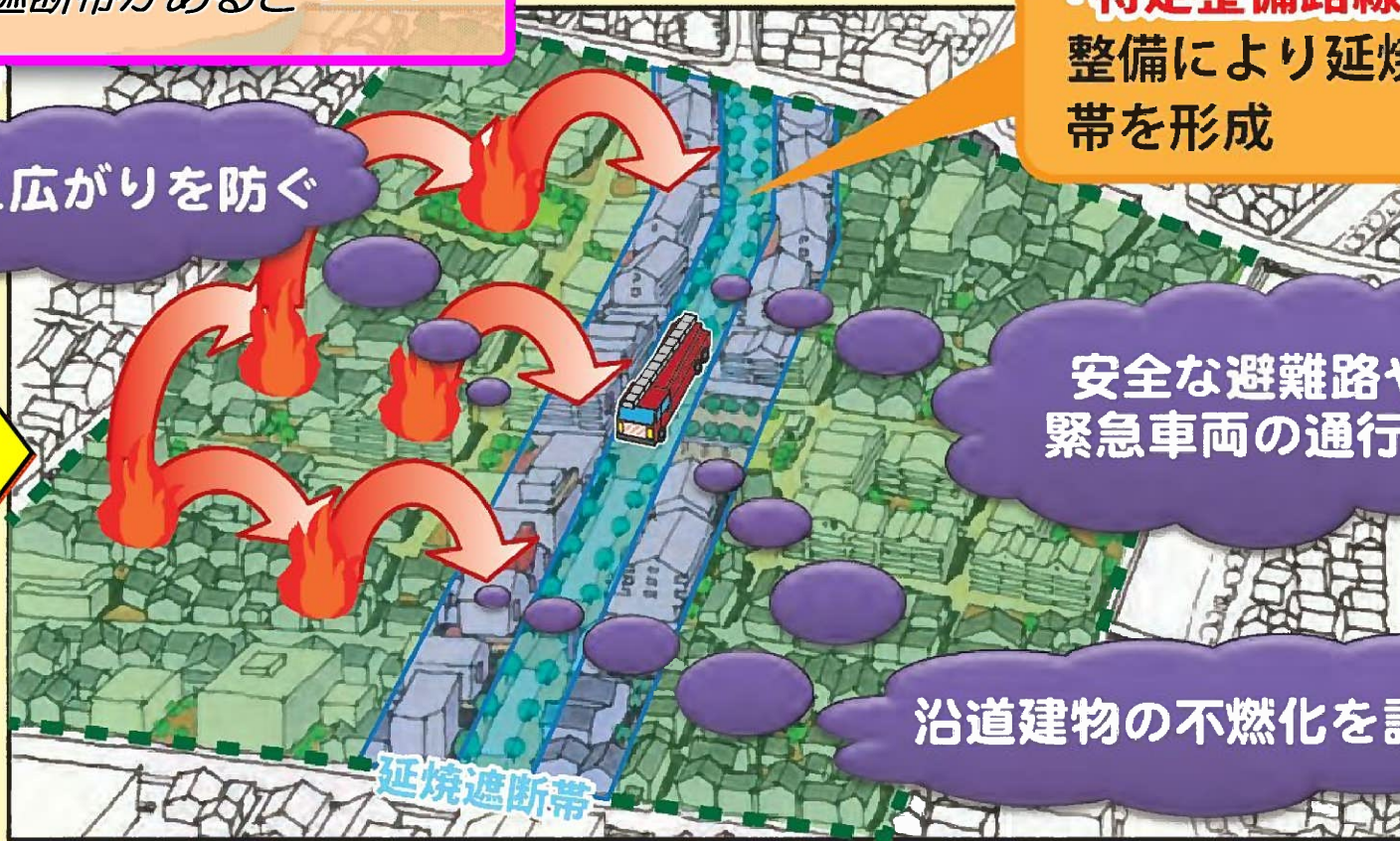
出典：「首都直下地震等による東京の被害想定」東京都防災会議

特定整備路線の整備効果

延焼遮断帯があると・・・

燃え広がりを防ぐ

整備後



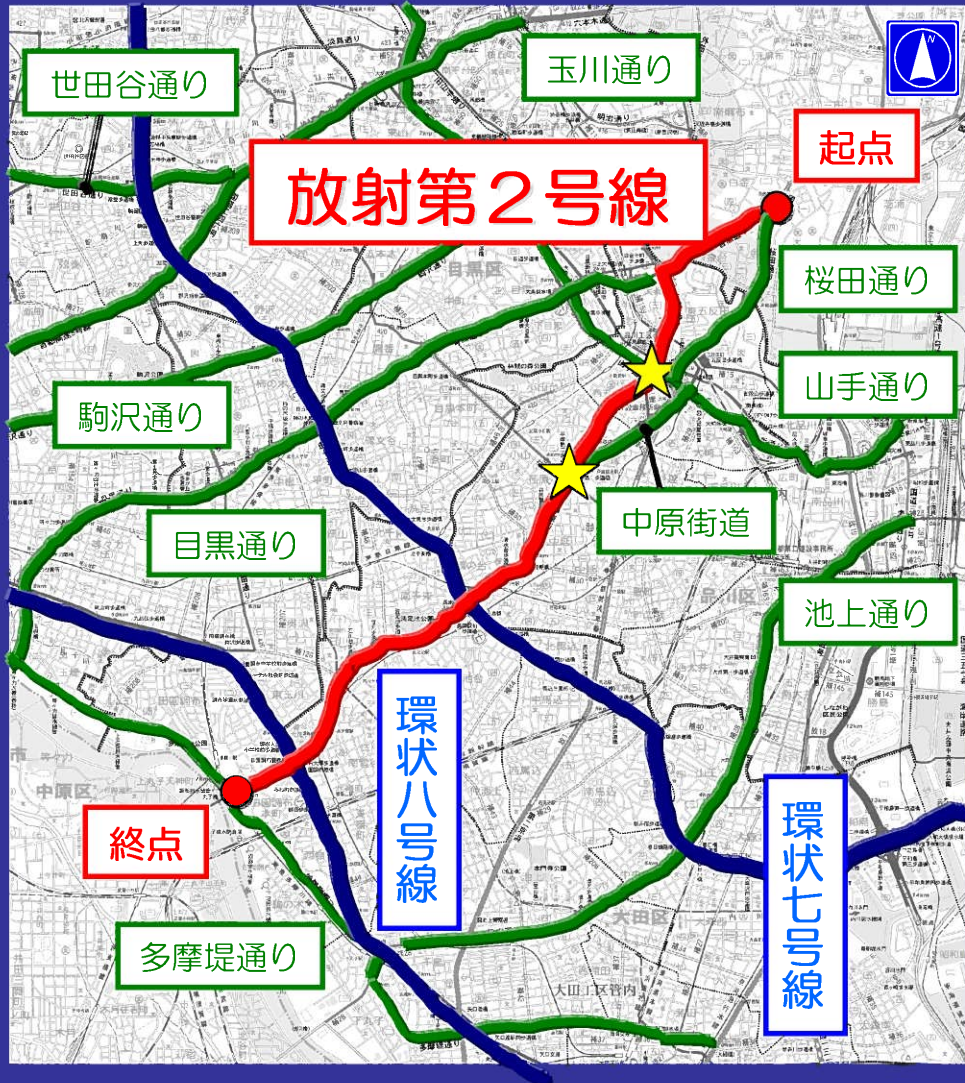
「特定整備路線」の整備により延焼遮断帯を形成

安全な避難路や緊急車両の通行路

沿道建物の不燃化を誘導

出典：「東京のまちづくり」

【案内図】



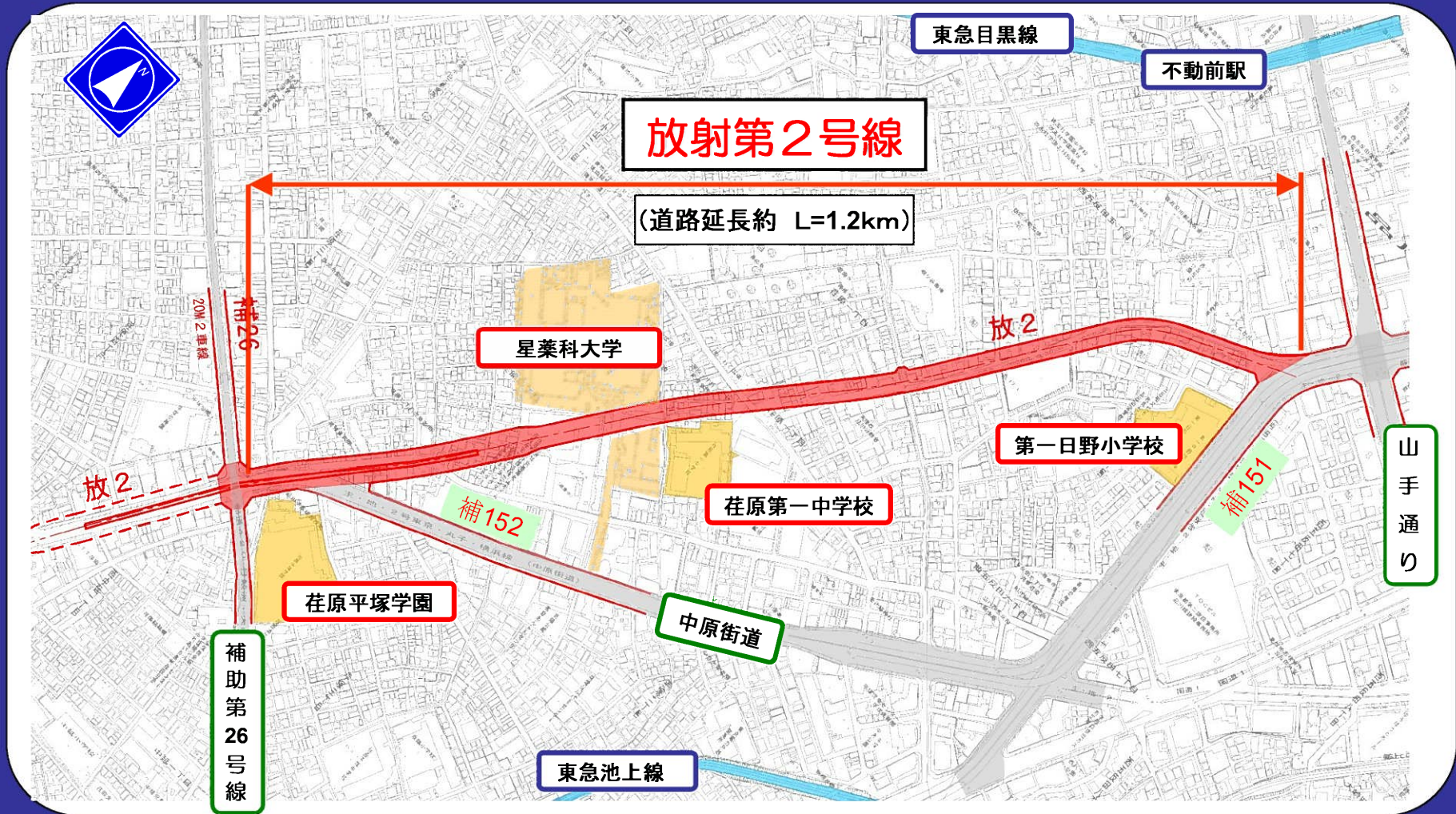
～放射第2号線～

- 都市計画決定

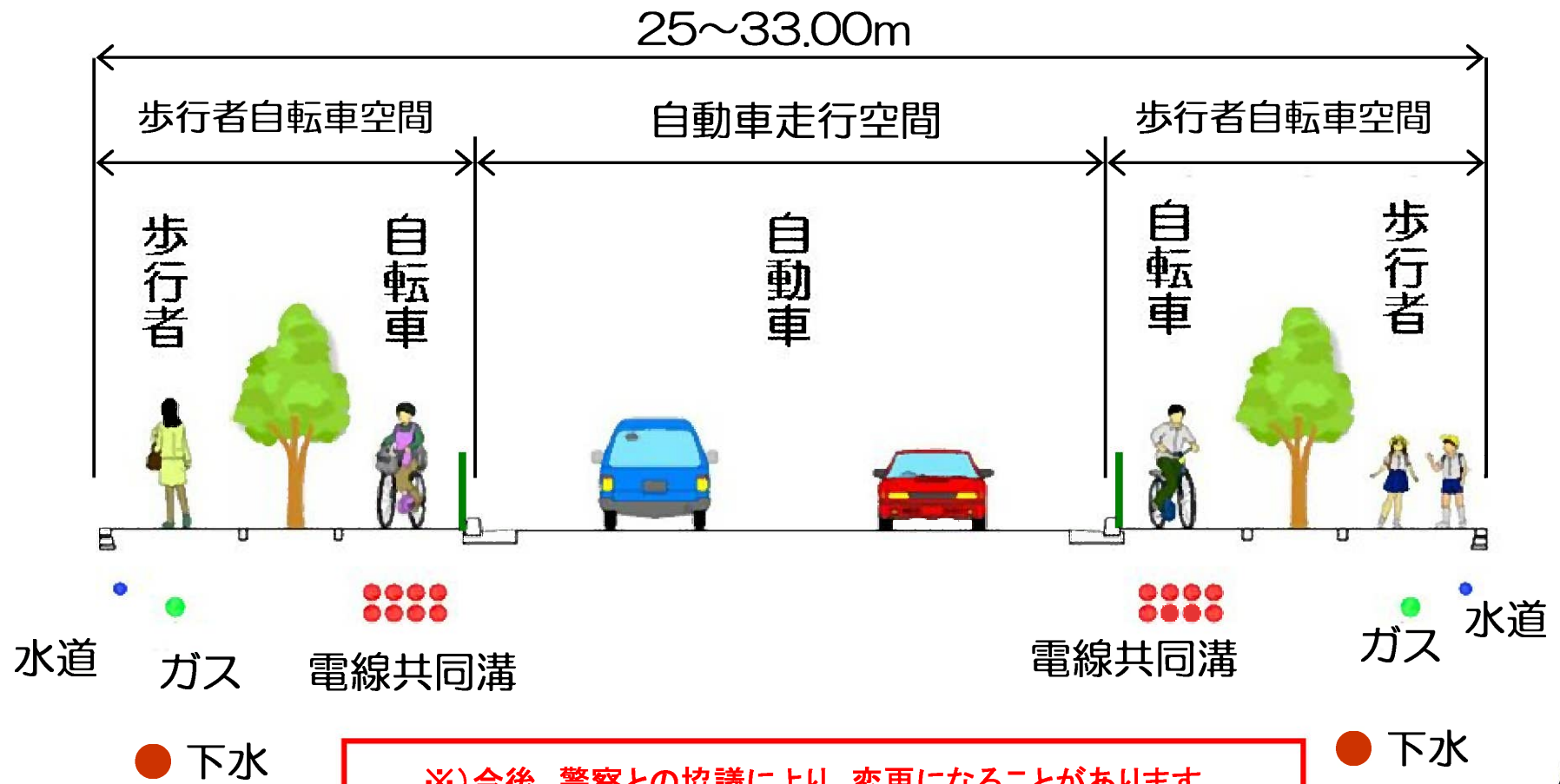
昭和21年3月26日

- 起点 港区白金台三丁目
- 終点 大田区田園調布二丁目
- 計画延長 7,890m
- 標準幅員 25～33m

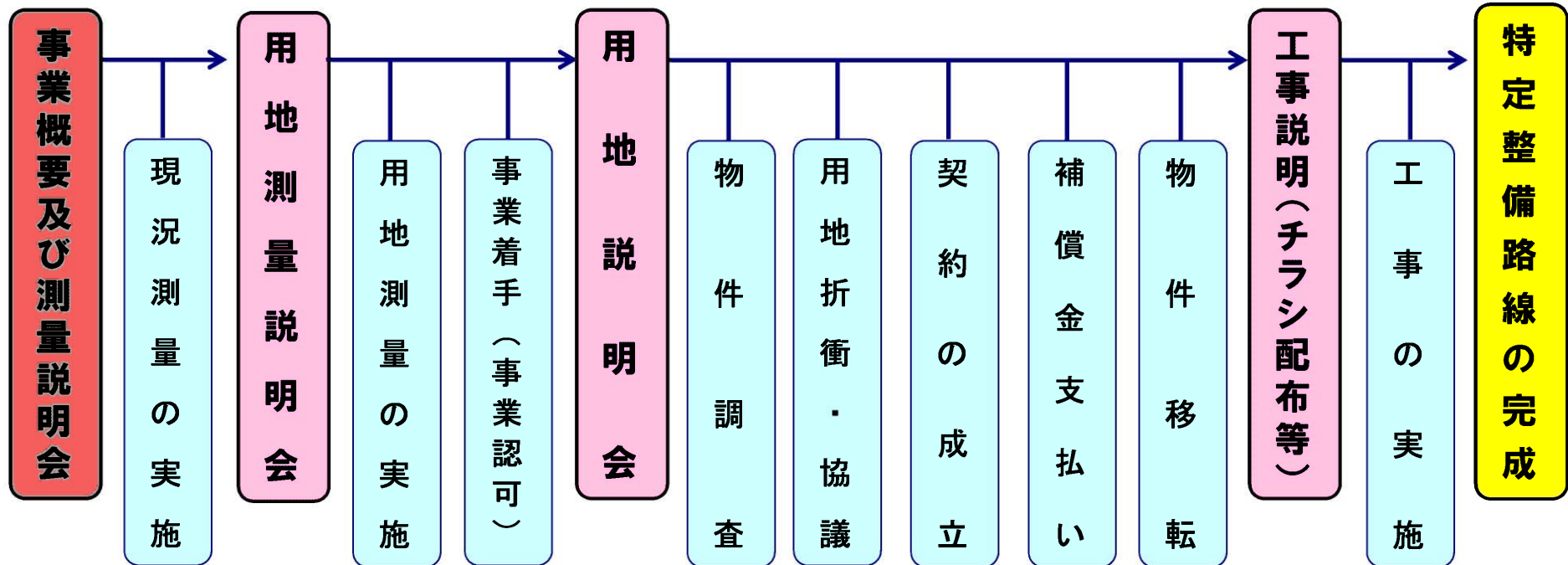
【計画概要図】



【断面図】 ～ 整備イメージ ～



事業の進め方



現況測量について

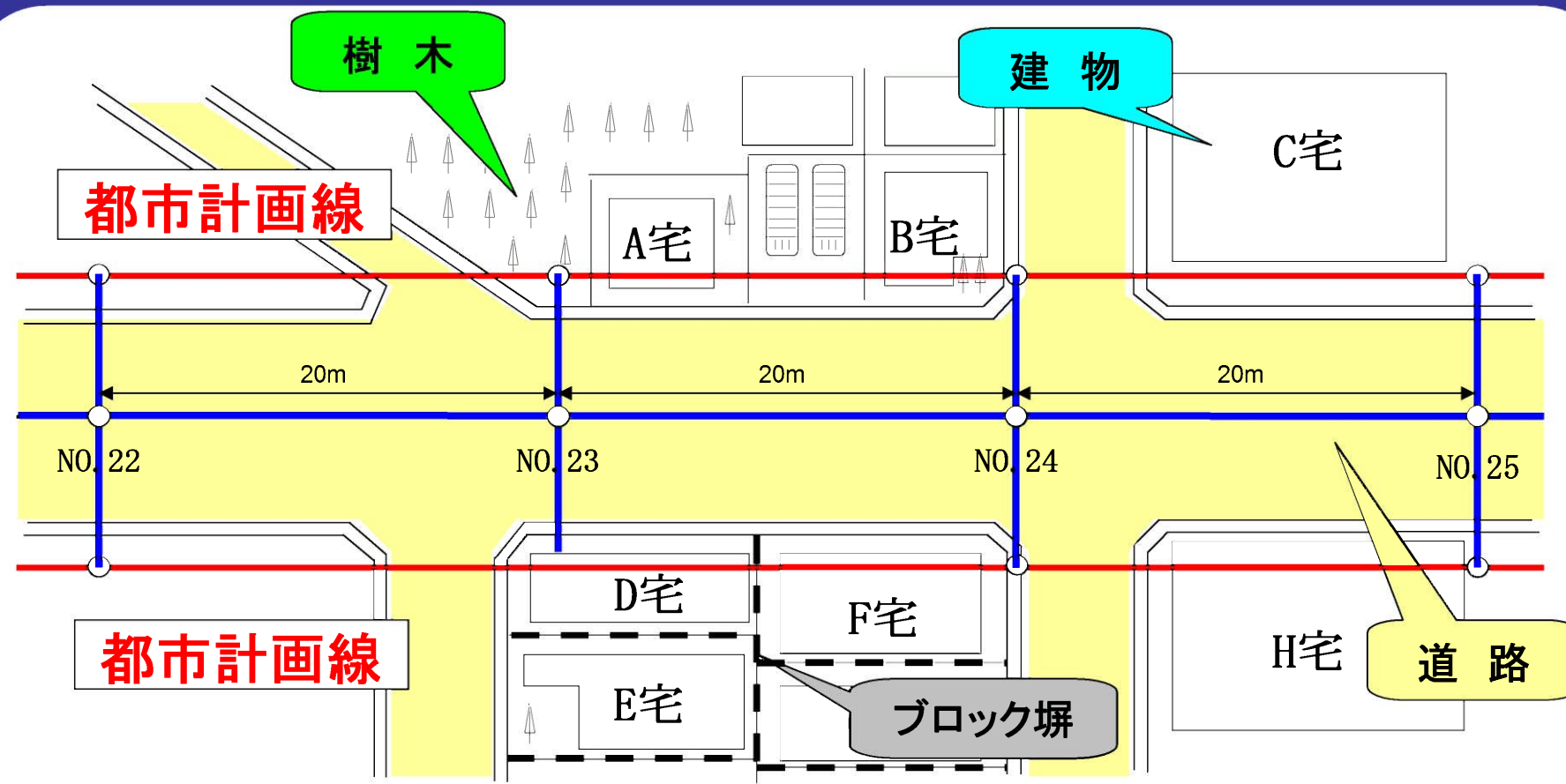
・現況測量の目的

都市計画道路を整備するため、今後必要となる基礎資料を得るために実施します。

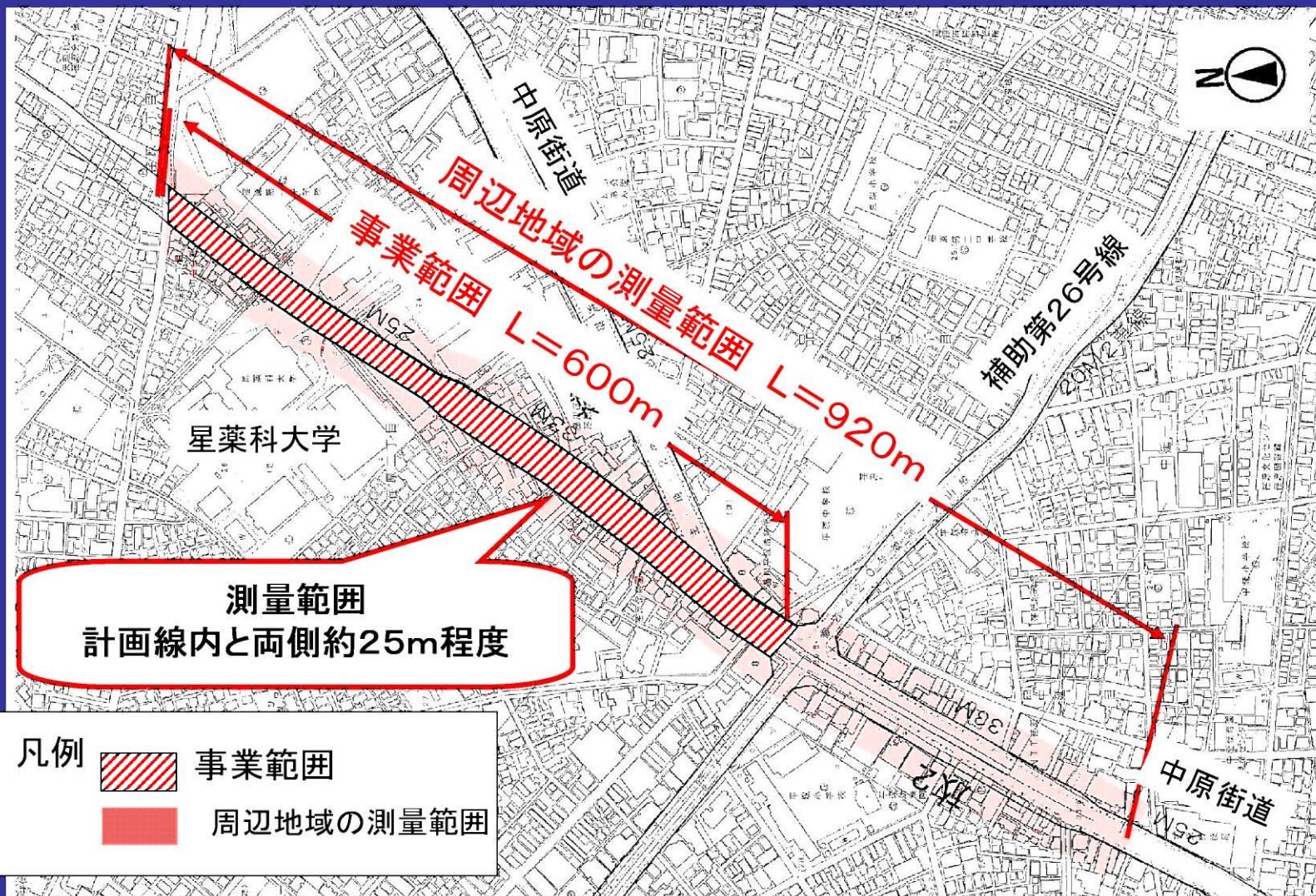
・作業にあたって

皆様の土地に立ち入らせていただく場合は、必ず事前にお断りしてから、作業に入らせていただきます。建物の中には入りません。

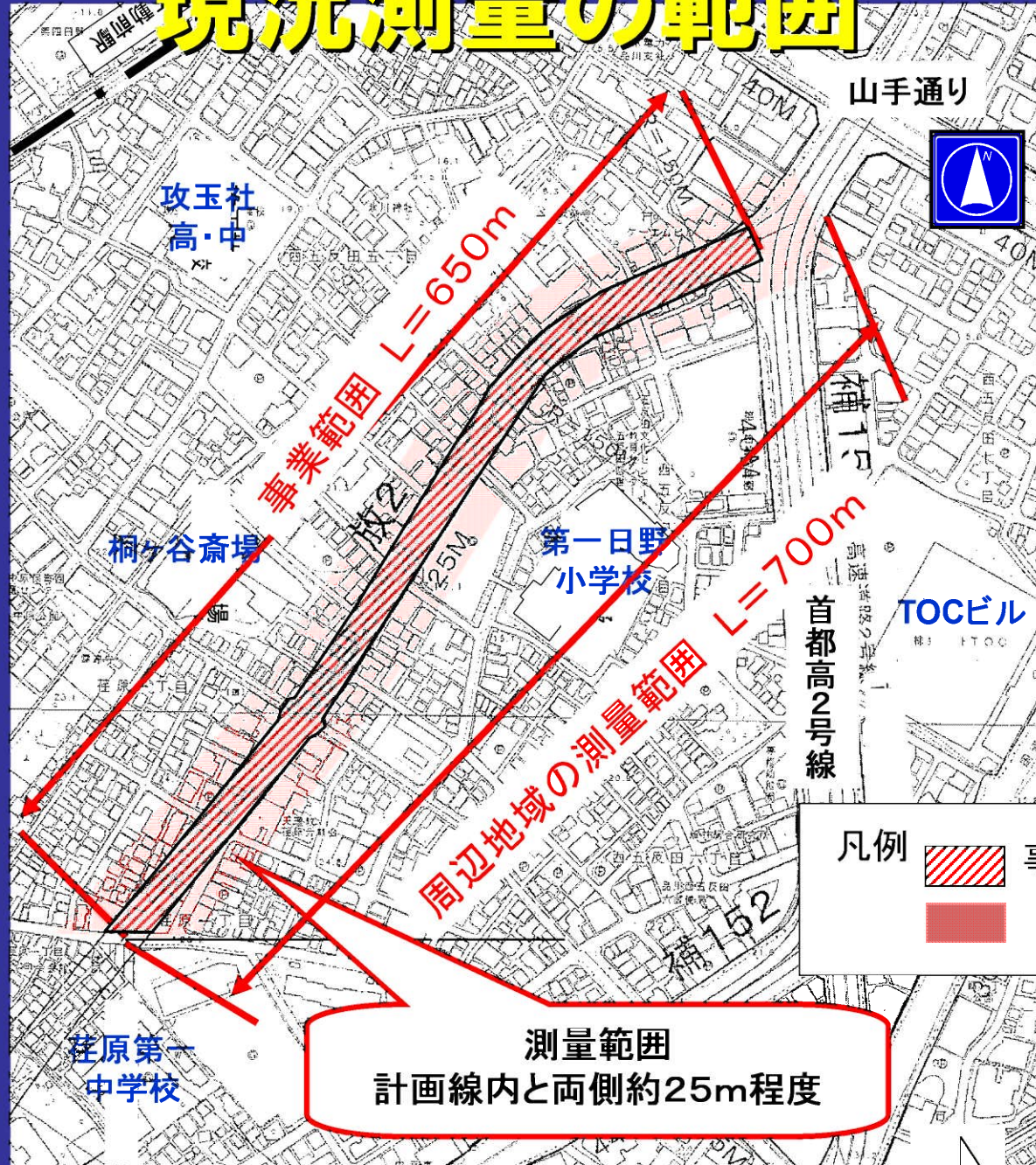
作成する現況平面図



現況測量の範囲



現況測量の範囲



凡例

-  事業範囲
-  周辺地域の測量範囲

お問い合わせ先

1 4

事業全般

東京都第二建設事務所工事課工務係

TEL 03 - 3774 - 9002

測量

東京都第二建設事務所工事課木密測量担当係

TEL 03 - 3774 - 8120

支援策

東京都第二建設事務所用地課

TEL 03 - 3774 - 8112

区の事業

品川区都市環境事業部都市計画課計画調整担当

TEL 03 - 5742 - 6760